

「見る」から「つくる」へ！ 『みなせんフェスタ』にて、踏み台製作・かんながけ・丸太切りを実施

仙台市建設職組合 青年部は、9月15日（月）に中田中央公園（宮城県仙台市太白区東中田5丁目13）で開催される『みなせんフェスタ』に出展し（10時～17時）、参加者が本格的に木工を体験できる「木工教室」を実施いたします。

本企画は、参加者が自らの手で「踏み台」を製作できるワークショップを中心に、かんながけ・丸太切りといった体験も用意。大人から子どもまで幅広い世代が、普段の生活では触れることのない木工の道具や技術に挑戦できます。

■ 企画のポイント

単なる製品の販売や展示に留まらず、参加者に「木と触れ合う」「ものづくりの工程を体感する」という、お金では買えない「プライスレスな経験」をお届けします。

実用性と達成感を両立した「踏み台製作」

参加者が木材を加工して組み立てる本格的な木工体験。完成した踏み台はそのまま持ち帰ることができ、イベントの思い出とともに「ものづくりの達成感」を味わっていただけます。

工作キットとは違い、大工の技術を間近で感じながら仕上げる工程は、「ものづくりの原体験」です。



踏み台製作

手軽に挑戦できる「丸太切り」「かんながけ」

のこぎりで丸太を切る迫力、かんなで木材を削る感触は、大人でも新鮮な体験です。

過去のイベントでは「子どもより大人が夢中になった」という声も多く、親子が一緒に楽しめる点が大きな特徴です。



丸太切り体験（子ども用）



踏み台用の木材加工



丸太切り体験（大人用）

■ 開催者の想い

仙台市建設職組合では、本企画を単なる体験イベントとしてではなく、次のような想いを込めています。

● 建設業の魅力を次世代へ伝えたい

建設業に対しては「きつい・厳しい・危険」という古いイメージが根強くあります。しかし、現代の建設現場は安全性・働きやすさが大きく改善され、若い世代にとって魅力ある職業の選択肢になり得る環境です。

● “街をつくる仕事”の価値を再認識してほしい

家も道路も学校も、すべては建設業なくして成り立ちません。普段は意識されにくいこの事実を、ものづくり体験を通して身近に感じてもらうことを目的としています。

● 地域社会に開かれた組合でありたい

組合は業界内のつながりを守るだけでなく、一般の方々にとっても「安心できる相談窓口」としての役割を果たします。今回の出展を通じて、地域の人々にもっと身近な存在として知っていただきたいと考えています。

■ 担当者コメント

子どもたちには「ものづくりの楽しさ」を、大人の方々には「建設業の魅力と将来性」を伝えたいと考えています。AIが進む時代だからこそ、人の手による技術の価値はますます高まります。実際にかんなをかける手触りや、のこぎりで丸太を切る音、踏み台を完成させた時の達成感は、写真や文字だけでは伝わりにくい現場ならではの臨場感があります。だからこそ、ぜひ会場で直接見て、取材していただきたいと思います。

「建設業って面白い」「やってみたい」と感じる瞬間を、一緒に伝えていただければ嬉しいです。

■ 会場図（47が当組合のブースです）



【本件に関するお問い合わせ先】



詳細については、当日ブースにてお問い合わせください。

各種リンク

